発行 松ケ崎社会福祉協議会

> 発行者 野 西 信 雄

編集責任者 芝 Щ 宗 昭

## 平成二十二年度を 迈

見舞いを申し上げます。 チュード9とスマトラ沖地震を上回る近年最大のもの 津波が襲いました。地震エネルギーの大きさはマグニ でした。地震・津波災害の被災者の皆様には心からお 万円の寄付をさせていただきました。 本年度の最終の月、十一日に東北地方を大地震・大 福祉協議会からとりあえず五

が十余年前に出され、東電原発の耐震性に関する最近 の審議会でも取り上げられていたのに対策が採られて が福島県内陸部三キロメートルに達したとの調査結果 棹差しを考えて対処しなければならないでしょう。 縁社会化など福祉の問題も大きな流れとの折り合いや ています。身近に感じられる高齢化・世代間格差・無 いなかったとの情報が今になって届き、 世界は気候・資源・経済・人権の諸問題で揺れ動い ただ、平安時代の西暦八百六十九年に類似の大津波 悔やまれます。

理恵さん (西町) 定年で引かれ、新たに和田恵子さん(桜木町)と中川 して尽くされました岩崎美智子さんと野口久代さんが 本年度は当会役員に移動がありました。 民生委員と

ばりますので、松 初心に帰ってがん ます。役員一同、 ます。(会長の所 切にお願いいたし 足十五周年となり が就任されました。 感を編集子が取り ヶ崎学区の皆様の ご鞭撻・ご協力を 来年度は当会発



ることなどなど。

# 第十三回 区民敬老会

## 十月二十日 アピカルイン

ホールは一杯。 役員二十六名を加えた百十二人で二階 カルインにお集まり。来賓二十二名、 で学区の高齢者六十四人が続々とアピ 今夏の猛暑を乗り越え、徒歩やバス

す。」、との祝辞を頂いた。 持った日々の活動が健康の源。この会 崎猛彦自治連合会長から、 との歓迎の挨拶。来賓を代表して、 が皆様の活力になることを祈念しま 孫の世話、 っくり歓談され、 会。まず、西野会長から、「本日はゆ 十一時、岩崎達夫副会長の司会で開 地域ボランティア等目的を 楽しんで下さい。 「散歩、農業

おげんきですか? 僕たち三年生はみ 十六人。「おじいさん、おばあさん、 最初の出演は松ヶ崎小学校三年生四

> として以下のように話されました。初 や喉で演奏してくれました。 た。ビリの気持ちは判るかな?」等々、 んな仲良く元気です。運動会は終わっ た。次いで、『聖者が町にやってきた』、 、夕焼け小焼け、など七曲をリコーダ 人ひとりの生徒が響き渡る声で順番 続いて、林顧問が、社協活動報告に 掛け合いながら挨拶してくれまし

児と母親向けに松ヶ崎児童館で、子育 ピンコロリ)を目指していること。 頭と体の健康を増進し、PPK(ピン を開催し、ナゾナゾや工作で高齢者の は、小学校で年七回、、すこやか学級、 回の敬老会を小学校講堂で開催したが た椅子から線香の匂いがした。最近で 参加者が予想より多く、 急遽借り出し

具クリーニ 通じて、無 便り発行を ングや社協 を開催。寝 てサロン



器が、焼死を防ぐためにも火災を隣家 けが難しい場合は消防分団員が手伝 燃性の物を使いましょう。 錠し、駐車場は明るくし、 やダンボールなどを置かず、 の一位が放火です。家の周りに新聞紙 団西郡部長から一言。「住宅火災原因 に広げないためにも有効です。取り付 に出る煙を感知して警報音を出す報知 昼食のまえに、来賓の松ヶ崎消防 火災の初期 シートは難 物置は施

後半は、韓国ドラマ主題歌「冬のソナ 音屋、が出演。「真っ赤な太陽」、「南 幅広く出前演奏する音楽家集団、京の の美しい演奏にうっとり。 タ」、モンティ作曲「チャルダッシュ」 負けの美声飛び入りに、ヤンヤの喝采。 で始まり。「君の名は」では、プロ顔 国土佐を後にして」、「りんごのうた」 午後は、クラシックから歌謡曲まで



ードで「三百六十五歩のマーチ」の替 して盛り上がりました。 最後は吉田・井栗両保育士さんのリ 最後は、 皆で「青い山脈」を大合唱

味噌汁一杯、梅干一個 健康は歩いてこない ワンツーワンツー 野菜食べて、牛乳飲んで 制限しながら食べようよ 手を取り合って生きようよ 人生はワンツーパンチ 合わせて食塩三グラム だから自分で作るのさ 一日食塩十グラム

#### それ、ワンツーワンツー 胸を張って歩こう

を歌いながら体を解し、お開きとなり



## 平成二十二年度 健康すこやか学級下期

第五回 十一月十七日

長はギターに合わせて、 会長を含め、十月、十一月生まれの七 参加。吉田先生の弾くエロクトーン・ をシミジミと歌った。 懐かしのメロディを口ずさむ。 西野会 員今井さんのエレクトーンに合わせて 歌に合わせて出席点呼。次いで、西野 人をハッピーバースディの歌でお祝い。 午前の第一部は音楽の時間。社協役 新入の女性一人を加え、二十一人が 演歌 酒よ

第二部は井栗先生の「京都クイズ」

とじょり」、「あわいさ」、「いかれろ」 松ヶ崎言葉(マッチャキことば)編。「あ を申し入れていました。 徒は悠々正解し、逆に先生に発音訂正 等々。地元生まれや半世紀住まいの生

は各々三個のキャンディを支給され、

昼食後は、腹ごなしのゲーム。

「権兵衛さんの赤ちゃん」を歌いなが

全員で謝意を表しました。



け方に工夫を凝らし、米寿を越えたお

一人も教えあいながら。お正月のテー

柄の紙を三折りし、水引結びを基本に

午後の本番は工作「箸袋作り」。和

します。紙の色・柄選び、折り目の付

ブルに花を添える箸袋が出来上がりま

も七割が生き残り、熱気ムンムン。

上げられ退場する仕組み。十回経過後 ャンケン。負ければキャンディを召し らジグザグ行進し、相手を見つけてジ

さんは二問正解。全員での正答率は40 %。学力が付いて来ましたね。 全十題。学級のなぞなぞ王こと小倉宏 婦で散歩、前に行くのは誰?」、など 体操。「正直な虫の母さんは?」、 第三部は西野会長のナゾナゾで頭の 一夫

なった市橋さんにお菓子のレイを贈り、 受けました。 フルエンザ」 午前の最後は市橋看護師から「イン 院内異動で今回が最後と の健康講話と血圧測定を



#### 第六回 十二月十五日

学校一年一組の児童が入場。、ゲンコ ツ山のたぬきさん〟を歌いながら、ジ とにいたしました。師走の冷え込みは 括センター職員が協力して運営するこ ャンケンポン。負けた人が勝った人に 厳しいものの元気な顔が揃いました。 林顧問の挨拶で一時限が始まり、 今回は松ヶ崎社協役員と大原地域包

半分、お互い笑顔満面です。 肩叩きや肩揉みをします。くすぐった



ルメン間奏曲、と、ポップス系の さん (樋ノ上町) と田中美由紀さん (河 昭さん(東町)はフルート、 学芸会の出し物であったクリスマスソ 原田町)の二人はギターで、歌劇゛カ 気老人トリオ」が入場。役員の芝山宗 ングなどを披露してくれました。 二時限には一年二組の児童が入場。 三時限は音楽鑑賞、地元の自称「元 田中督彦

の瞳、の二曲を演奏。最後は、〝聖夜〟 小学一年生、役員と一緒に。



笛 時となりました。 弦、人の声が調和し、 至福のひと

ゲームなしでゆったりと過ごしたため べりをしながら昼食。 か、値は低めで皆さんご安心。おしゃ 午前の〆は血圧測定。 クイズなし、

場。予め学園内で作った素焼きの角Ⅲ 学園」陶芸班の青年達が職員と共に登 が持込まれました。 にある心身障害者通所授産施設「修光 午後は陶芸教室です。修学院山添町



ませ本絵描き。 焼き上がると青色になる顔料を筆に含 考に、慣れぬデッサン作業。最後は、 紙や奥谷役員が持込んだ絵皿などを参 に絵柄を用意した感心な学級生も居ま したが、泰磨さんが描いたウサギの色 まずは下絵を鉛筆で書きます。事前

三月二十日に障害者センターでご披露 されます。楽しみですね。 学級生の作品は学園の窯で焼かれ、

## 第七回 三月二日

人、女性十一人がご出席。 春の気配を感じる三月二日、男性四 吉田先生の

> キーボードに合わせて、「うぐいす」、 ピーバースディの歌でお祝い。 十二、一、二、三月生まれの方をハッ 「春が来た」の季節の歌でスタート。

るようです。 れないように点検すべき時期に来てい 帯電話のマナー悪さが問題になってい ピ」の電子音。テレビ情報の過多や携 かり。家の中のアチコチで「ピッピッ 飯器等々、進化のスピードには驚くば ます。見かけの豊かさや便利さに流さ 冷凍機付き家庭用冷蔵庫、 今昔」のお話。戦前の氷式冷蔵庫から、 二時限は西野会長による「電化製品 洗濯機、

問だらけで、 四年ぶりに復活した祭りは? など難 どれ? 明治十七年岩倉卿の尽力で十 き先)は、奈良、大津、亀岡、大阪の 明治十年京都駅竣工時の鉄道路線(行 三時限は井栗先生による京都クイズ。 今回は先生の優勢勝ちで

橋看護師)から逆流性食道炎について しょう」とのこと。 いように、消化の良い物を適量頂きま の健康講話。「食後直ぐに横にならな 四時限は新任講師 (博愛会病院の高

が、仕上がりは上々。作品を手に、「う も一緒に丸い台紙に貼り付けます。桃 さま、お雛様を作り、 居て、高得点が出ていました。 の花なども添えて時間は掛かりました ながらも見事なフォームで投げる人も チック製ピンを倒す遊び。「ボーリン を長机連結レーン上で転がしてプラス グはしたこと無いわ」とワイワイ言い 最後は雛人形製作。折り紙でお内裏 昼食後はボーリング。綿入れボール 厚めの御座模様



年度最後の学級を終了しました。 れしいひな祭り」を歌い、 和やかに今

### 平成二十二年度 もちつき大会

月二十二日 松ヶ崎児童館



年からは高齢者から児童・幼児も一緒 児童向けに開いてきたものですが、昨 です。この行事は数年前から児童館が 後も寒い日が続いていましたが、 が共催を始めました。 に楽しめる行事として社会福祉協議会 き大会当日は晴れ、気温は十度、 平成二十三年は雪景色で明け、 暖か

待機中。中庭には石臼、 蒸し、お雑煮などの下ごしらえ。用意 員の慣れた手で丸められ、 は電動もちつき機でつき終え、女性役 した三十五キログラムのもち米の半分 結。職員や父兄と共に、もち米洗い、 応援の少年補導委員数名が児童館に集 ブルが並べられました。 当日九時半、協議会委員約二十名、 餅船の中で

母さんに手を引かれた幼児、赤ちゃん 自転車に乗った小学生、お



を抱いたお父さん、孫と一緒のおじ

始まりました。 がコッキ(杵の先を使って捏ねること) た。米が飛び散らないように男性役員 るこコーナーで配られ始めました。お さん・おばあさん達がゾクゾクと入場 の石臼に蒸された餅米が入れられまし 腹がちょっと落ち着いた頃、 醤油餅コーナー、雑煮コーナー、おし から歓迎の挨拶を受けました。 した後、 -庭で横内館長さんと西野協議会会長 つきたての餅は、黄な粉餅コーナー 杵が児童に渡され、 重い杵、 粘るモチ米、 餅つきが 中庭中央



来るほどでした。

た機械によるモチ、それらは飛ぶよう チ、庭中央の手つきモチ、庭隅に据え

各コーナーでは長い行列が出

は遊戯室へ移動、里井夫妻の腹話術、 の掛け合いに大喜び。 人形の元気君とおじさん・おばさんと 十二時過ぎ、満腹になった子供たち



午後一 時過ぎにお開きとなりま

得て、 もちつき大会は二百余名の参加者を

# 活動紹介

に努める」の精神の下で活動しておら 必要な援助を行ない、社会福祉の増進 常に住民の立場に立って相談に応じ、 民生委員法 **童委員でしょう。昭和二十三年施行の** 福祉ボランティアの代表格は民生児 「社会奉仕の精神を持って

> れます。老人福祉委員は、 で千三百十人が活動中です。 否確認や相談活動を行う」 都市の独自事業として「独居老人の安 民生委員の負担を軽減するために、京 化が進み始めた昭和五十年代、従来の 議会の推薦・市長の委嘱により、 したものです。 各学区民生児童委員協 趣旨で発足 社会の高齢

掛かりでつき終えました。

参加者の食欲は旺盛、事前用意のモ

子供たちは悪戦苦闘しながら三、

四 人

センターに連絡を取っています。 考慮しながら、福祉事務所や包括支援 がありそうなケースは縁者との関係を の委員が、約八十人の独居老人に対し て、平均で月一回家庭訪問して、 顔を覚えてもらえなくて、 松ヶ崎学区内では別表のように六人 問題

- 扱いされる
- ・家に引きこもりがちな人の長い愚痴 の応答に困る

などの悩みを抱えながらも、

- 自分を律して趣味やお稽古に励んでお られる方に老いの手本を見せて貰う
- 訪問中は愚痴ばかりの人に店先で会 らわれる った時に、 「いつも有難う」とねぎ

とのことでした。 県の身内の家に移る人が居られて、 から委員に情報をお寄せ頂きたい。」、 居状態の把握が難しい。「ご近所の 方 独 出さない人や住民票を残したまま他府

最近は連れ合いを亡くしても葬式を

などの喜びも感じているとのこと。

は感じたところです。 て連携・支援すべきだなーと、 生児童委員や社協役員が従来にも増し 委員に負担が掛かりすぎないように民 三重に出てくる人を相手する老人福祉 孤立・生活苦・認知症の悩みが二重 編集子

#### 表. 老人福祉委員の名前と担当町名





梅 中 村 林 芝  $\nabla$ 編集 Ш 原 Ш 不委員 弘 慈 宗 子 雄 子 子 昭  $\triangle$